



萌え出づる朝陽（撮影者：山崎宣子）

年頭のご挨拶 「変化のなかで」

マザアス東久留米 施設長 高原敏夫

介護保険は問題を抱えながら、何とか軌道にのり、当初の約束どおり五年後の改正時期を迎えました。

利用者には「選択」「自立支援」「自己責任」、サービス提供者には「競争」「民間参入」「イコールフィットティング」というような新しい考え方が導入されて、大きく変化していることを実感しております。

この変化のなかで、「社会福祉法人」の存在意義が薄れてきたのではないか、という声が聞こえています。確かに平成十二年を境に、「公助」が半減し、保険で「互助」「自助」の色が濃くなつて、社会福祉法人の果たすべき役割が狭められてきました。

しかし、存在意義は当然ある訳で、「措置」「地域福祉の拠点」や最後のより処としての「セーフティネット」としての役割が求められています。

どのような変化があつても、社会福祉法人が忘れてはならないのは「地域密着」ということだと思つています。「要介護状態となつたら可能な限り住み慣れた自宅又は地域で生活を継続できるようにするためのサービス」を構築するのは、地域と一体とならなければ実現できません。

法人の使命である「共に生きる社会の創造」は、地域のなかで、地域と共に歩まねば実現しないと思っています。

手塚理事長 高齢福祉功績者受賞

平成17年度



社会福祉法人マザースの手塚清三郎理事長(80)が、平成17年度高齢福祉功績者賞を受賞しました。これは高齢福祉に寄与した個人に対し東京都が毎年実施するもので、受賞式は平成17年10月26日(水)に東京都庁第二本庁舎にて行われました。

手塚清三郎(てづかせいざぶろう)

大正13年9月9日生まれ 手塚車両工業(株) 会長

平成6年10月～社会福祉法人マザース理事 同8年10月より理事長に就任



手塚理事長に贈呈された表彰状

■高齢福祉功績者とは■

高齢福祉の推進に当たり、その業績がある者の功績を称えるものです。

■手塚理事長受賞のコメント■

栄誉ある賞を受賞できて嬉しく思っています。推薦して頂いたマザースの皆様をはじめ、地域の方々に感謝いたします。これからも微力ながら地域福祉に貢献できればと思っております。

■賛辞の言葉:高原敏夫■

手塚理事長にはマザース設立当初よりご尽力頂き、マザースの発展に寄与して頂きました。今回の受賞はその功績に十分値するものだと存じます。これからもマザースと地域の発展のためにお力添えをお願いしたいと思っています。

マザースのお正月'06



マザース神社初詣：マザース氷川台



新年会：グループホームひかわだい



餅つき大会：マザース東久留米



新年会：マザース大門
06.01.12

●利用者満足度調査報告●

このたび、私どもでは、よりよいサービスのご提供をめざして、利用者の皆様に対するアンケート調査を実施しました。今回は初めて、特養ホームだけでなく、全ての在宅サービスについてもアンケートを取らせていただきました。利用者・家族の皆様、ご協力ありがとうございました。

(回答率)	特養・ショートステイ	全在宅サービス	自由記述
東久留米事業所	60.1%	59.7%	137件
日野事業所	68.6%	54.4%	84件

調査内容は、各々のサービスでの職員の接遇態度を中心にし、加えて食事、環境等のことにお尋ねしました。各項目とも、満足(3点)、普通(2点)、不満(1点)で集計したところ、各サービスへの満足度は次のようになりました。

(満足度)	特 養	相談	介護	看護	食事	窓口
		87%	87%	88%	81%	88%
日野		91%	86%	88%	83%	93%
東久留米	在 宅	デイサービス	ヘルパー	居宅支援	グループホーム	
		83%	89%	88%	95%	
日野		82%	85%	89%	—	

また今回、自由記述による皆様からのご意見も頂戴していますが、合わせて当調査結果を施設としてしっかりと受け止め、より良いサービスのご提供に努めていきたいと思います。

■施設長講評■

●東久留米事業所

開設10周年を経過して、それなりに厳しい目で評価していただいている感じである。

幸い自由記述ではパーセントで点数以上の方が記されていたように思える。特別養護老人ホームのそれには「マザアスは愛そのもの」とあり、在宅サービスの「ヘルパーさんの誠実さと家事の腕前が心に染みます」と極めて満足していただいている様子が伺える。

一方、満足度のパーセントをみると、デイサービスと食事の内容に満足されていないことが判明した。この事実を重く受け止めて、次年度の課題にしたい。

●日野事業所

自由記述では、特養で洗濯後の衣類、またショートステイで入退所時の職員の対応・報告の不備。デイサービスでは食事の肉が固いなどで苦言が寄せられた。その他、要望の形で施設設備に関するご意見もあったように、細かな所で行き届かないことがあることに改めて気づかされた。評価としては、食事に代表される個人の嗜好に関わる項目では、相対的には辛い点数になって表れているが、全体として職員の接遇面ではかなり高い評価をいただけた。

今後とも、さらに利用者のお一人お一人のご要望を可能な限り取り入れながら、より質の高いサービスの提供が出来るよう努めていきたい。

◆ 知っておきたい認知症の基礎知識 ◆

— PART 2 —

前号では、「認知症の基礎として「単なる物忘れではないことと、身近な問題であること」をお伝えしました。今回は一步進んで代表的な認知症について紹介します。

脳血管性認知症と、アルツハイマー型認知症、この二つと混合型を合わせると、認知症全体の8~9割を占めると言われています。

・ 脳血管性認知症

脳梗塞、脳出血など脳の血管に異常が起きた結果、あるいは動脈硬化などが原因で脳の神経細胞が死んでしまうために認知症になるもの。一回の脳卒中発作で現れる場合もあるし、何回かの脳卒中を引き起こしたことによって起こる場合もあります。また、はっきりとした発作が起きなくても小さな梗塞巣があちこちに発生することによる多発性脳梗塞認知症もあります。

② 若年性認知症

認知症は高齢者だけの病気ではありません。主な原因は、前述の2つに加え薬物・アルコール依存症、パーキンソン病、ピック病など様々な病気が考えられます。家計を支える働き盛りの家族が罹患してしまったら、経済的な問題や心理的ストレスは大きい。40歳以上であれば介護保険サービスの利用は可能ですが、周囲の理解と協力が必要です。

・ アルツハイマー型認知症

脳の細胞が変形したり消失した結果、脳が縮んでいき、認知症になるもの。その原因はまだはっきりされていないので根本的な治療の方法が見つかっていません。記憶との関係が深い海馬や大脳皮質で、神経細胞の脱落が広範囲で起きているため、自分のいる場所が判らなくなったりします。

脳を若く元気に保つ暮らし方

① 脳の健康は心臓から

心臓に良いことは脳にも良い。心臓病、高血圧、糖尿病、脳卒中にならないように、できることを毎日続けよう。

② 自分の値を知ろう

体重、血圧、コレステロール、血糖を望ましい値に保とう。

③ 脳に栄養を

脂肪の摂り過ぎに注意し、緑黄色野菜中心にバランスの良い食事を心掛けよう。たとえば青魚に多く含まれる不飽和脂肪酸は、血中のコレステロールを低下させ、血液を凝固しにくくするため、血栓や動脈硬化を抑え血管と脳の若さを保つ働きをする。緑黄色野菜のカロチンは体内でビタミンAとなり、細胞の酸化を押さえ老化防止に効果あり。

④ 体を動かす

身体の運動は血流を促し脳細胞を刺激する。体を生き生きさせるためにできることをしよう。

⑤ 心のジョギングを

物事に関心を持つことによって、脳の活力を高め脳細胞とそのつながりの余力が生まれる。

読む、書く、ゲームをする、新しいことを学ぶ、自分の趣味をさらに深める etc…。

⑥ 他の人とのつながりを

一人でいると脳の刺激量が格段に少なくなる。出来るだけ多くの人の接觸があり、和やかに笑い合える生活環境を持って、前向きに考えていく。

老人介護に関する関連用語

成年後見人制度

認知症などで物事を判断する能力が低下、あるいは能力が失われた高齢者の法律上の権利を守り、意思を代弁する為に援助者（「成年後見人」という）をつける制度。成年後見人は、利用者の人権や財産権、公民権などの権利が奪われることの無いように、様々な法律行為や財産の管理を代行する権限を持っている。

任意後見制度

まだ判断能力が十分にあるときに、加齢による老人性認知症等で判断能力が低下する場合に備えて信頼できる人（任意後見人）との間で自分の生活、療養看護、財産管理についてあらかじめ契約をしておくという制度。

デイサービスセンターマザアス氷川台

グループ化への初の試み



グループごとに活動中



なじみの仲間ができました



職員もいっしょに食事をします



体を動かす事が大事です

利用者の個性を生かした【野ばらの会】【なかよし会】【むつみ会】の3つのグループがスタートした

■デイサービスが目指すもの■ マザアス氷川台：池添明美（副主任）

デイサービス氷川台では平成17年10月1日より利用者様のグループ化を始めました。

これは従来の集団処遇では十分な成果を挙げられなかった個別処遇によるケアの向上を目指したもので、条件に合った利用者様10人前後をそれぞれ3つのグループに分け、各グループにリーダーを含む2人のケアを配しました。グループ化を進めていく上ではまだまだ多くの課題が残されていますが、今までになかった大きなメリットとして下記のようなことが挙げられます。

利用者様の立場から

- 1) 利用者様同士の仲間意識が芽生え、主体的な行動が見られるようになったこと。
- 2) 個別の趣味活動を通じて意欲の向上が見られるようになったこと。
- 3) 利用者様の固定席ができたこと(以前はテーブルが定まっておらず不安だった)。

ケアの立場から

- 1) 利用者様の個々のニーズを把握することができるようになったこと。
- 2) ケアプランに即した取り組みができるようになったこと。
- 3) 一緒に食事をするようになってから利用者様とのコミュニケーションが密になった。

今後の課題

- 1) 少人数で質の高いケアを目指すこと。
- 2) 各グループ間の距離が短いため、騒々しくなってしまうこと。(仕切り等が必要である)
- 3) ご家族向けの「デイサービス便り」の発刊。(生活連絡帳を補完するものとして)

写真コメント

馴染みの仲間同士で会話も弾み、趣味活動にも活気が満ちてきた。
ケアと利用者様が一緒に食事をすることで、今までになかったコミュニケーションがとれるようになった。

予防運動は
転ばぬ先の杖!

転倒予防教室

在宅介護支援センター多摩川苑 杉浦三枝子

介護予防とは、要支援や要介護の状態になることを予防していくまでも元気で自分らしくイキイキと暮らしていくための手段です。在宅介護支援センター多摩川苑では、介護予防事業の一環として、10月から計12回「転倒予防教室」を実施致しました。参加者の条件は「概ね65歳以上で会場まで歩いて通える方」、講師は「ひの社会教育センター」のスタッフです。



レクリエーションで身体を温めます!

最初の30分は身体を温めるためにレクリエーションを行ないました。指の体操や簡単なゲームは頭の体操にもなります。みなさんとても楽しまれ、大きな笑い声が響きました。

いっぽい汗をかきました!

参加者の平均年齢は75歳。

最高年齢は81歳の方でした。

運動を続ける事で、丸めていた背中がしだいに伸び始める方や、歩行がしっかりされる方など、良い成果がみられました。楽しく運動をして大きな声で笑うことは、良い思い出にもなったようです。



☆転ばないためのポイント☆

~足を引きずって歩くと、平らな場所でも転びやすいので注意しましょう~
~目頭から足を持ち上げて歩くことを心掛けましょう~

マザアス日野文化祭

(10/30~11/7)

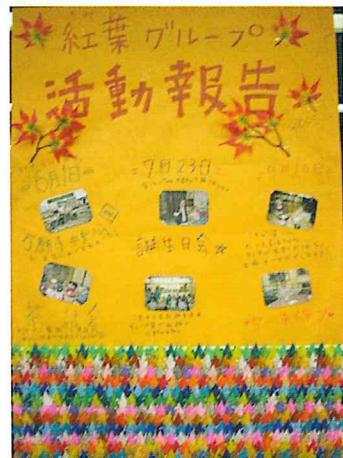
共同作品が数多く展示されました!



(特養4階作品)



(特養3階作品)



(特養2階作品)

集団給食から個別対応によるサービスの提供へ！

～栄養ケア・マネジメントに取り組んでいます～



マザアス日野管理栄養士
正木直子

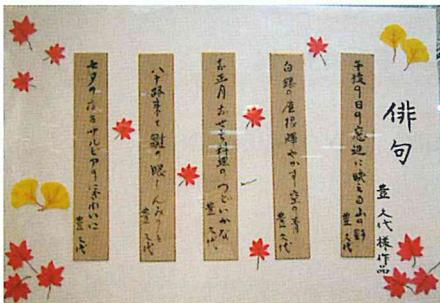
平成17年10月より介護報酬改定において食費が全面的に利用者負担となり、同時に「栄養ケア・マネジメント」に対する加算が新設されました。

一般的にご高齢者は、その心身機能の低下に伴い食事量が落ちたり、栄養が体内に吸収されにくい状況で生活されることがあります。「栄養ケア・マネジメント」は利用者様の低栄養状況の予防・改善を重要な課題としておこないます。そして、その取り組みを通じて生活機能の維持・改善や、尊厳ある自己実現に寄与すること+大きな目的となります。

具体的には、①ご利用者の現在の栄養状況を評価し②それに基づき改善すべき課題を見つけだし③医師の指示を受けながら、管理栄養士・看護師・介護士・介護支援専門員をはじめ、施設職員が協働解決方法を検討し、実践します。

私自身、この課題に取り組み始めて色々なことを学びました。お食事を全量召し上がりていらっしゃるのに栄養状態の良くない方、100歳近いご高齢でもしっかり普通食を召し上がっていることへの感動など、多くの発見があります。利用者様お一人お一人に、本当に美味しく、生活に生きがい・喜びを感じて頂ける、良いお食事を提供していきたいと実感しています。「栄養ケア・マネジメント」は順次作成し、ご本人・ご家族の同意を得て実践をすすめております。

利用者様お一人お一人が、マザアス日野でその人らしい人生を送って頂くために、「食べること」から日々の生活の豊かさを追求していきたいと思っています。



(特養2階作品)



(特養3階作品)



(特養4階作品)

ボランティア総会



平成17年11月14日(月) 10:00よりボランティアのみなさまへの日ごろの感謝をこめ、昼食会をかねたボランティア総会を開催いたしました。約70名余の方々にお集まり頂き、新任役員(谷中代表、牧野書記、金子書記、各留任)の承認を行ったあと、施設長をはじめ各課より感謝の言葉を述べました。そして牧野先生の詩の朗読、西野先生のアコーディオンに合わせて「ひとりの手」を合唱し閉会いたしました。ボランティアの皆様には改めて感謝申し上げます。

職員研究発表会

日 時 2月21日(火) 18時30分～20時30分
場 所 マザアス東久留米3階地域交流ロビー
助言者 児玉桂子先生
(日本社会事業大学教授)

〒203-0004 東京都東久留米市氷川台2-5-7

特別養護老人ホーム マザアス東久留米
Tel 0424-77-7261 Fax 0424-77-7500

デイサービスセンター マザアス氷川台
Tel 0424-77-7263 Fax 0424-77-7500

東久留米市東部在宅介護支援センター
Tel 0424-73-9996 Fax 0424-73-9986

〒203-0004 東京都東久留米市氷川台2-6-6

ヘルパーステーション マザアス氷川台
Tel 0424-77-7260 Fax 0424-77-7500

グループホーム ひかわだい
Tel 0424-77-2150 Fax 0424-77-2150

居宅介護支援事業所 マザアス氷川台
Tel 0424-70-1740 Fax 0424-70-1740

〒203-0011 東京都東久留米市大門町2-10-5

デイサービスセンター マザアス大門
Tel 0424-70-0065 Fax 0424-70-8024

〒203-0032 東京都東久留米市前沢5-25-14

グループホーム たきやま
Tel 0424-77-1525 Fax 0424-77-1525

救急救命受講優良証授与

日頃の取り組みが評価され、東京消防庁より「救急救命受講優良証」、日野消防庁より「感謝状」を頂きました。マザアス日野では平成13年より救急救命の受講を推進し、現在では60名以上の職員が修了者となっています。けが人や急病人が発生した時に、職員が速やかに応急手当できることが大切です。マザアス日野では、万一の場合にも皆様に安心して頂ける施設を目指し、今後も積極的に取り組んでいきます。

職員研究発表会

日 時 2月20日(月) 18時～20時30分
場 所 1階地域交流スペース
助言者 日向野明子先生
(東京YWCA専門学校)

編集後記

はじめまして。今回より広報担当になりました、今坂です。これからも皆様に親しみやすく、楽しくて頂ける「ひだまり」を作りたいです。よろしくお願い致します。

マザアス日野生活介護課:今坂亮一

〒191-0024 東京都日野市万願寺1-16-1

特別養護老人ホーム マザアス日野
Tel 042-582-1661 Fax 042-582-1730

デイサービスセンター マザアス多摩川苑
Tel 042-582-1675 Fax 042-582-1730

ヘルパーステーション マザアス多摩川苑
Tel 042-582-1673 Fax 042-582-1730

居宅介護支援事業所 多摩川苑
Tel 042-582-1672 Fax 042-582-1730

在宅介護支援センター 多摩川苑
Tel 042-582-1707 Fax 042-582-1730

〒191-0062 東京都日野市多摩平2-13-14

グループホーム たまだいら
Tel 042-589-3668 Fax 042-589-3669

発行所

社会福祉法人マザアス

〒203-0004 東京都東久留米市氷川台2-5-7

Tel 0424-77-7261 Fax 0424-77-7500

ホームページ <http://www.moth.or.jp>

発行責任者:高原敏夫 編集責任者:山崎宣子